平成24年度採択プログラム 中間評価調書 博士課程教育リーディングプログラム プログラムの概要 [公表。ただし、項目13については非公表]

	機関名	大阪大学		整理番	号	L02							
1.	全体責任者	※共同実施のプログラムの場合に 場合は基幹大学)の学長名に下続	- · — · · · · · · · ·	学長について記入	し、取りまとめを行	っている大学(連合大学院によるものの							
) と しお										
	(学長)	氏名 職名 平野	,俊夫(大阪大 草	学•学長)									
2.	プログラム責任者	(ふりがな) ほしの) としや										
		氏名•職名 星野	,俊也(大阪大 ^宝	学•副学長)									
	プログラム	(3,511,14)	* こうきち										
	ーディネーター	氏名・職名 志水	: 宏吉(人間科·	学研究科•人間	間科学専攻教	授)							
4.	類型	L<複合領域型(多文	化共生社会)>										
	プログラム名称	未来共生イノベーター博	士課程プログラ	L									
5.	英語名称	Revitalizing and Enriching Society through Pluralism, Equity, and Cultural Transformation											
	副題												
6.	授与する博士学 位分野・名称	文学、人間科学、法学、 言語文化学、日本語・日 付記する名称:未来共生	本文化、国際公	共政策、学術	i	学、保健学、工学、							
		(① 社会学)	(② 教育学) (③	政治学)※ 複合領域型は太枠に主要な分科を記入							
7.	主要分科	言語学、文化人類学、経営学、総合工学、社会医学											
		(1)	(2)) (3)※ オンリーワン型は太枠に主要な細目を記入							
8.	主要細目	社会学、教育学、国際関地球・資源システムエ学			頁学·民俗学、	 経営学、							
(主力	専攻等名 こる専攻等がある場 下線を引いてくださ	間科学研究科グローバ 攻、経済学研究科経営 科地球総合工学専攻、1	ル人間学専攻、) 学系専攻、医学系 エ学研究科ビジス 吾社会専攻、言詞	去学研究科法 系研究科医学 ネスエンジニフ 吾文化研究科	:学・政治学専 専攻、医学系 アリング専攻、 日本語・日本	4学研究科人間科学専攻、人 攻、経済学研究科経済学専 研究科保健学専攻、工学研究 言語文化研究科言語文化専 文化専攻、国際公共政策研究							
10.	共同教育課程を	を設置している場合の共同	司実施機関名										
11.	連合大学院とし	て参画している場合の共	同実施機関名										
12.	連携先機関名(他の大学等と連携した取組の	場合の機関名、研究	2科専攻等名)									

										<u> [2</u>	公衣」				
14. プログラム担当者	当の構成	計	51	名											
外国人の人数	4 .	٨.	[7.8 %]	女性の人数		9	人	[17.6	%]				
プログラム実施大学に属する	者の割合 [88.2	%]												
プログラム実施大学に属する者	1			45 人	プログラム実	施大学以外に	属する者			6	人				
そのうち、他大学等	を経験したこと	のある者		37 人	そのうち	、大学等以外	トに属する	 6者		5	人				
 15. プログラム担当者	<u> </u>														
氏名	フリガナ	年齢	所属	属(研究科•專	厚攻等)∙職名	役割分担 (平成26年度における役割)									
(プログラム責任者)															
星野 俊也	ホシノ トシヤ			\$共政策研究科 副学長	・国際公共政策	国際関係論、 国連研究、平和 創造・博士 (国際公共政策)	プログラ	ム責任者							
(ブログラムコーディネーター) 志水 宏吉	シミス゛コウキチ		人間科 授	4学研究科・人	間科学専攻・教	プログラム全般のマネージメント									
平沢 安政	ヒラサワ ヤスマサ		人間科 授	4学研究科・人	間科学専攻・教	人件教育学、 多文化教育 学、生涯教育 学・教育学博 士	プログラ	ムの企画	・運営						
園山 大祐	ソノヤマ ダ・イスケ		人間科 教授	4学研究科・人	間科学専攻・准	教育制度学、 比較国際教育 学・修士(教育学)	プログラ	ムの開発	・運営						
Yamamoto Beverley Anne	; ヤマモト ベバリ- アン	,	人間科 授	4学研究科・人	間科学専攻・ 教	先端人間学、 生涯教育、教 育の国際化・ Ph. D(東アジア 研究)	プログラ	ムの開発	・改善						
稲場 圭信	イナハ゛ ケイシン		人間科 教授	4学研究科・人	間科学専攻・准	現代社会学、 宗教社会学・ Ph. D (宗教社会 学)	プログラ	ムの開発	・運営						
栗本 英世	クリモト エイセイ		人間科 授	4学研究科・人	間科学専攻・教	社会人類学・ 修士(文学) 文学修士	プログラ	ムの企画	・運営						
森田 敦郎	モリタ アツロウ		人間科 教授	学研究科・人	間科学専攻・准	人類学、タイ 研究・博士 (学術)	プログラ	ムの開発	・運営						
渥美 公秀	アツミ トモヒテ゛		人間科 授	学研究科・人	間科学専攻・教	ボランティア 行動学・ Ph. D(心理学)	プログラ	ムの開発	・運営						
佐藤 眞一	サトウ シンイチ		人間科 授	4学研究科・人	間科学専攻・教	臨床死生学、 老年行動学・ 博士(医学)	プログラ	ムの開発	・改善						
中村 安秀	ナカムラ ヤスヒテ゛		人間科 攻・教		ローバル人間学専	国際保健学、公衆衛生学・博士(医学)	プログラ	ムの企画	・運営						
澤村 信英	サワムラ ノブ゛ヒデ		人間科 攻・教		ローバル人間学専	国際教育開発 論・博士(人 間科学)	プログラ	ムの開発	・運営						
Hawkins Virgil	ホーキンス ウ゛ァーシ゛ル			\共政策研究科 准教授	・国際公共政策	国際政治・博士(国際公共 政策)	学生の履	修支援と,	点検						
河村 倫哉	カワムラ ミチヤ			\共政策研究科 准教授	比較公共政策	多文化共生、 市民社会論・ 修士(社会 学)	プログラ	ムの開発	・運営						
松野 明久	マツノ アキヒサ		国際公		・比較公共政策	紛争研究、平 和構築・修士 (文学)	学生の履	修支援と,	点検						
大槻 恒弘	オオツキ ツネヒロ		国際公		・国際公共政策	開発経済学・ Ph. D(農業資源 経済学)	学生の履	修支援と,	 点検						
植田 晃次	ウェタ゛ コウシ゛		言語文 教授	て化研究科・言	語文化専攻・准	朝鮮語学、社 会言語学・修 士(文学)	プログラ	ムの開発	・運営						
山下 仁	ヤマシタ ヒトシ		言語文 授	て化研究科・言	語文化専攻・ 教	社会言語学・ 修士(文学) 文学修士	プログラ	ムの開発	・運営						

						[公表]
15. ブ	ログラム担当者	一覧(続き)				
_	氏名	フリガナ	年齢	所属(研究科・専攻等)・職名	現在の専門 学位	役割分担 (平成26年度における役割)
清水	政明	シミス [*] マサアキ		言語文化研究科・言語社会専攻・准 教授	間・環境学)	学生の履修支援と点検
鈴木	慎吾	スス゛キ シンコ゛		言語文化研究科・言語社会専攻・講師	中国語音韻 史・博士(言 語文化学)	学生の履修支援と点検
上原	順一	ウエハラ ジョンイチ		言語文化研究科・言語文化専攻・教授	電子教材と外 国語教育、ロ シア語の語形 成・修士(文 学)	学生の履修支援と点検
筒井	佐代	ツツイ サヨ		言語文化研究科・日本語・日本文化 専攻・教授	日本語教育 学、会話分 析・博士(言 語文化)	プログラムの開発・改善
藪中	三 +二	ヤブ・ナカ ミトシ゛		国際公共政策研究科・特任教授 外務省顧問(前外務事務官)	外交政策	プログラムの企画・開発
橋爪	節也	ハシヴ゛メ セツヤ		総合学術博物館・館長	日本東洋美術 史・修士(芸 術学)	プログラムの開発・改善
杉原	達	スキ゛ハラ トオル		文学研究科・文化形態論専攻・教授	(経済学)	学生の履修支援と点検
福井	康太	フクイ コウタ		法学研究科・法学・政治学専攻・教 授	法社会学、法 政策学・博士 (法学)	プログラムの企画・開発
長田	真里	th [*] 9 マリ		法学研究科・法学・政治学専攻・教 授	国際私法、国際民事手続法・博士(法学)	学生の履修支援と点検
高山	正樹	タカヤマ マサキ		経済学研究科・経営学系専攻・教授	経済地理学・ 修士(文学)	プログラムの企画・開発
許	衛東	キョ エイトウ		経済学研究科・経営学系専攻・准教 授	経済地理学、 中国経済・修 士(教育学)	学生の履修支援と点検
浦井	憲	ウライ ケン		経済学研究科・経済学専攻・教授	理論経済学・ 博士(経済 学)	プログラムの開発・改善
磯	博康	イソ ヒロヤス		医学系研究科・医学専攻・教授	公衆衛生学・ 博士 (医学)	プログラムの企画・開発
渡邊	浩子	ワタナベ ヒロコ		医学系研究科・保健学専攻・教授	臨床看護学・ 博士(保健 学)	プログラムの企画・開発
松村	泰志	マツムラ ヤスシ		医学系研究科・医学専攻・教授	医療情報学 · 博士 (医学)	プログラムの企画・開発
伊藤	美樹子	イトウ ミキコ		医学系研究科・保健学専攻・准教授	地域看護学、 保険社会学・ 博士(保健 学)	プログラムの開発・改善
横田	隆司	ヨコタ タカシ		工学研究科・地球総合工学専攻・教 授	建築計画、建 築都市人間エ 学・博士(エ 学)	プログラムの企画・開発
倉敷	哲生	クラシキ テッセイ		工学研究科・ビジネスエンジニアリング専 攻・准教授	信頼性工学、 複合材料工 学・博士(エ 学)	学生の履修支援と点検
上西	啓介	ウエニシ ケイスケ		工学研究科・ビジネスエンジニアリング専 攻・教授	マイケン・ナノデ・バイス、電子デ・バイス・電子機器、電子・電子材料工学・博士 (工学)	学生の履修支援と点検
常田	夕美子	h+9 123		グローバルコラボレーションセン ター・特任准教授	文化人類学、 南アジア地域 研究、ジェン ダー研究・博士 (学術)	学生の履修支援と点検
吉富	志津代	ヨシトミ シヅ゚ヨ		グローバルコラボレーションセン ター・特任准教授	多 タ 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	プログラムの開発・改善

15. フ	プログラム担当者	舌一覧(続き)				
	氏名	フリガナ	年齢	所属(研究科・専攻等)・職名	現在の専門 学位	役割分担 (平成26年度における役割)
森栗	茂一	モリクリ シケ゛カス゛		コミュニケーションデザイン・セン ター・教授	コミュニ ティ、コミュ ニケーショ ン・博士(文 学)	プログラムの企画・開発
桃木	至朗	モモキ シロウ		文学研究科・文化形態論専攻・教授	歴史教育・博 士 (文学)	プログラムの企画・開発
本間	直樹	ホンマ ナオキ		コミュニケーションデザイン・セン ター・准教授	臨床哲学・修 士 (文学)	プログラムの開発・運営
西口	光一	ニシク゛チ コウイチ		国際教育交流センター・教授	言語心理学、 日本語教育 学・修士(教育学)	プログラムの企画・開発
大谷	晋也	オオタニ シンヤ		国際教育交流センター・准教授	日本語教育 学、言語社会 学・修士(言 語文化)	学生の履修支援と点検
岩居	弘樹	191 t¤‡		全学教育推進機構・教授	ICTを活用した 外国語教育・ 修士(文学)	プログラムの企画・開発
渡邊	あゆみ	ワタナヘ゛ アユミ		NHK・アナウンサー	放送職・学士 (教養)	プログラムの開発・改善
朴	_	パク イル		大阪市立大学経済学研究科・教授	エスニック、 マイノリ ティ、スタ ディーズ・博 士 (商学)	プログラムの企画・開発
千	玄室	セン ケ゛ンシツ		日本国際連合協会・会長(兼日本・国連親 善大使、日本国観光親善大使、ユネスコ親 善大使、茶道裏千家第15代家元)		プログラムの企画・開発
小林	義彦	コハ・ヤシ ヨシヒコ		公益社団法人関西経済連合会・国際 部長	修士(国際公共政策)	プログラムの開発・改善
若月	誠	ワカツキ マコト		アクティブユニット有限会社・代表 取締役、経営コンサルタント	組織人材開発、キャリア開発、ベンチャー起業論・修士(経営学)	プログラムの開発・改善
向井	正博	ፊ ክብ マサヒロ		大阪府教育委員会・教育長	教育行政・学 士 (法学)	プログラムの開発・改善
				1		İ

16. プログラムの応募学生数、合格者数及び受講学生数

本学位プログラムの過去3年間のリーディングプログラム応募学生数等について記入してください。

(各年度3月31日現在(ただし平成27年度は提出日現在)) 平成27年度 平成26年度 平成24年度 平成25年度 *(今後の募集予定: 無) プログラム募集定員数(実数) 人 15人 15人 15人 34人 33 J 人 40人 人 5人 8人 うち留学生数 15人 1人) 人) 14人(0人) 17人(2人) 9人 うち自大学出身者数 人((① 応募学生数 20人 (5人) 23人 (13人) 24人 7人) うち他大学出身者数 人(人) (うち社会人学生数 人(人) 11人(0人) 2人(0人) 3人 ((人0 人) 17人 (3人) 23人 (11人) 17人 5人) うち女性数 人((18人 18人 18人 人 うち留学生数 人 3人 1人 4人 うち自大学出身者数 7人(0人) 12人 (2人) 6人 (1人) 人(人) ② 合格者数 12人 2人) うち他大学出身者数 人(人) 11人 (1人) 6人(2人) (0人 (人0 うち社会人学生数 6人 (0人) 1人(0人) (人(人) うち女性数 人(人) 7人 (0人) 8人(2人) 12人 (3人) 17人 15人 人 15人 うち留学生数 1人 4人 3人 人 うち自大学出身者数 人(人) 6人 (0人) 9人 (2人) 4人 (1人) ③ ②のうち受講学生 数 うち他大学出身者数 人(人) 11人 (1人) 6人 (2人) 11人 (2人) 0人) うち社会人学生数 人(人) 5人 (0人) 1人(0人) 0人 (3人) 人) 7人 (0人) 11人 うち女性数 人(8人 (2人) (プログラム合格倍率(①応募学生数/②合格者 0.00倍 1.89倍 2.22倍 1.83倍 数)(小数点第二位を四捨五入) 充足率 (合格者数/募集定員) 120.00% 120.00% 0.00% 120.00%

[※]うち自大学出身者数、うち他大学出身者数、うち社会人学生数、うち女性数の()には留学生数を内数で記入してください。

[※]平成27年度*(今後の募集予定:有・無)については、平成27年度内に受講を開始する学生を募集予定の場合(秋入学等)は「有」に、募集予定がない場合は「無」に 印を付けてください。また、有の場合は、プログラム募集定員数(実数)欄には募集予定人数を含めず、下記備考欄へ募集時期とともに記載してください。 ※編入学生がいる場合は、年度ごとの内訳を備考欄に記入してください。

17. 学位プログラムの受講学生数・修了(予定)者数 各年度における本学位プログラムの受講学生数を記入してください。 ①区分制及び一貫制博士課程

(各年度3月31日現在(ただし平成27年度は提出日現在))

プログラムの受講学 生数等		픽	₹成 2	4年	隻			317	T ett o	- 4-				7.4	- -	c Æ =	#			17	成り	フ作り	ŧ		平成	
		平成24年度 平成25年度											平成26年度							平成27年度						
	M1 (D1)	M2 (D2)	D1 (D3)	D2 (D4)	D3 (D5)	計	M1 (D1)	M2 (D2)	D1 (D3)	D2 (D4)	D3 (D5)	計	M1 (D1)	M2 (D2)	D1 (D3)	D2 (D4)	D3 (D5)	計	M1 (D1)	M2 (D2)	D1 (D3)	D2 (D4)	D3 (D5)	計	28 年度	29年度
	_	0				0						0						0						0		
うち留学生数	/	0				0						0						0						0		/
うち自大学出身者数	/	0				0						0						0						0		
うち他大学出身者数	$\overline{/}$	0				0						0						0						0		
うち社会人学生数	/	0				0						0						0						0		
うち女性数	$\overline{/}$	0				0						0						0						0		
	$\overline{/}$			/			17					17		17				17		3	8			11		
うち留学生数	$\overline{/}$			/			1					1		1				1			1			1		
うち自大学出身者数	7						6					6		6				6		1	1			2		
うち他大学出身者数	7						11					11		11				11		2	7			9		
うち社会人学生数	7						5					5		5				5		3	2			5		
うち女性数	$\overline{/}$						7					7		7				7		2	2			4		
	7			$\overline{}$							/		14					14		14				14		
うち留学生数	7												3					3		3				3		
うち自大学出身者数	7												9					9		9				9		
うち他大学出身者数	7												5					5		5				5		
うち社会人学生数	$\overline{/}$												1					1		1				1		
うち女性数	$\overline{/}$												7					7		7				7		
	7																		14					14	/	
うち留学生数	$\overline{/}$																	$\overline{/}$	2					2		
うち自大学出身者数	$\overline{/}$						$\overline{\ \ }$											$\overline{/}$	4					4		
うち他大学出身者数	$\overline{/}$			/							/							$\overline{\ \ }$	10					10		
うち社会人学生数	/			/							/								0					0		
うち女性数	/	\mathbb{Z}																	10					10		
計	0	0	0	0	0	0	17	0	0	0	0	17	14	17	0	0	0	31	14	17	8	0	0	39		
修了者数		•																								
就職者数																										
ム対象学生以外で、プ のカリキュラムの一部 ている学生数																										
	うち自大学出身者数 うち他大学出身者数 うち他大学出身者数 うちを性数 うちな女性数 うち留学生数 うちいか うちいか うちいか うちいか うちいか うちいか うちいか うちいか	うち自大学出身者数 うち社会人学生数 うち女性数 うちは大学出身者数 うち自大学出身者数 うち他大学出身者数 うち他大学出身者数 うちを性数 うちは大学出身者数 うち他大学出身者数 うち他大学出身者数 うち他大学出身者数 うち他大学出身者数 うち他大学出身者数 うち他大学出身者数 うち他大学出身者数 うちを性数	うち自大学出身者数 0 うち他大学出身者数 0 うち社会人学生数 0 うち留学生数 0 うち留学生数 うち他大学出身者数 うち社会人学生数 うち女性数 うち自大学出身者数 うち社会人学生数 うち付大学出身者数 うち社会人学生数 うち社会人学生数 うち女性数 うち自大学出身者数 うち大学出身者数 うち大学出身者数 うち社会人学生数 うち大学出身者数 うち大学出身者数 うち大学出身者数 うち大学生数 うち大学生数 うち大学生数 うち大生数 うち大生数 京大学出身本数 このよりまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	うち自大学出身者数 0 うち社会人学生数 0 うち女性数 0 うち女性数 0 うち女性数 0 うち自大学出身者数 うち社会人学生数 うち女性数 うち自大学出身者数 うち自大学出身者数 うち他大学出身者数 うち他大学出身者数 うち大会人学生数 うち大学出身者数 うち大会人学生数 うち女性数 うち他大学出身者数 うち大学出身者数 うち大学出身者数 うち大学出身者数 うち大会人学生数 うちが生数 うちがきがまります。 うち女性数 0 修了者数 就職者数 ム対象学生以外で、プロハンる学生数 このカリリキュラムの一部でいる学生数	うち自大学出身者数 0 うち社会人学生数 0 うち女性数 0 うち留学生数 うち自大学出身者数 うち他大学出身者数 うち社会人学生数 うち女性数 うち女性数 うち社会人学生数 うち社会人学生数 うち自大学出身者数 うち社会人学生数 うち大学出身者数 うち社会人学生数 うち大学出身者数 うち女性数 うち大学出身者数 うち大学出身者数 うち大学出身者数 うち大学出身者数 うち大学出身者数 うち社会人学生数 うち大学出身者数 うち大学出身活数 うちな性数 0 就職者数 ムカオリナデュラムの一部でいる学生数	うち自大学出身者数 0 うち社会人学生数 0 うち女性数 0 うち留学生数 0 うち自大学出身者数 うち他大学出身者数 うち社会人学生数 うち女性数 うち自大学出身者数 うち他大学出身者数 うちし大学出身者数 うち社会人学生数 うち社会人学生数 うち女性数 うち大学出身者数 うち女性数 うち大学出身者数 うち他大学出身者数 うち大学出身者数 うち大学出身者数 うち大学出身者数 うち大学出身者数 うちが生数 うち女性数 がた大学出身者数 うち社会人学生数 うちが生数 うちが生数 がまなせましみで、プロカリチュラムの一部でいる学生数	うち自大学出身者数 0 0 うち社会人学生数 0 0 うち女性数 0 0 うち自大学出身者数 うち社会人学生数 うち社会人学生数 うち女性数 うち他大学出身者数 うち他大学出身者数 うち他大学出身者数 うち社会人学生数 うち大会人学生数 うち社会人学生数 うち大会人学生数 うち女性数 うち大学出身者数 うち大学出身者数 うち大学出身者数 うち大学出身者数 うち大学出身者数 うち大学出身者数 うち大会人学生数 うち大会人学生数 うち大会人学生数 うちな性数 お職者数 人のカリキュラムの一部でいる学生数	うち自大学出身者数 0 0 うち社会人学生数 0 0 うち女性数 0 0 うち女性数 0 0 うち自大学出身者数 6 うち他大学出身者数 5 うち女性数 7 うち自大学出身者数 うち他大学出身者数 うち他大学出身者数 うち社会人学生数 うち大学出身者数 うち大学生数 うち大学出身者数 うち大学出身者数 うち大学出身者数 うち社会人学生数 うち大学生数 うち大学生数 うち大学生数 うち大学生数 うち大学生数 うち大学生数 うち女性数 17 修了者数 就職者数 ム対象学生以外で、プロカリチュラムの一部でいる学生数	うち自大学出身者数 0 <td< td=""><td>うち自大学出身者数 0 0 うち社会人学生数 0 0 うち女性数 0 0 うち留学生数 1 17 うち自大学出身者数 6 6 うち社会人学生数 5 5 うち自大学出身者数 うち他大学出身者数 うち他大学出身者数 うち自大学出身者数 うち社会人学生数 5 うち自大学出身者数 うち社会人学生数 うち社会人学生数 うち大学出身者数 うち社会人学生数 うち社会人学生数 うち大学出身者数 うち社会人学生数 うち社会人学生数 うち大学出身者数 うち社会人学生数 うち社会人学生数 うち大学出身者数 うち社会人学生数 ウカナリキュラムの一部でいる学生数</td><td>うち自大学出身者数 0 0 うち他大学出身者数 0 0 うち女性数 0 0 うち自大学出身者数 6 11 うち他大学出身者数 5 5 うち大生数 7 7 うち自大学出身者数 7 5 うち大生数 7 5 うち大学出身者数 5 5 うち大生数 うち付金人学生数 5 うち大生数 うち他大学出身者数 5 うち大生数 うち社会人学生数 5 うち大生数 うち女性数 5 うち女性数 うち女性数 5 が職者数 人対象学生以外で、のののよりよりなのののでは、大きないののでは、大きないののでは、大きないので</td><td> うち自大学出身者数 0 0 0 0 0 0 0 0 0 </td><td>うち自大学出身者数 0 0 0 うち社会人学生数 0 0 0 うち女性数 0 0 0 うち個大学出身者数 1 1 1 うち自大学出身者数 6 6 6 うち他大学出身者数 5 5 うち留学生数 7 7 うち留学生数 7 7 うち他大学出身者数 3 7 うち他大学出身者数 5 5 うち他大学出身者数 5 5 うち自大学出身者数 5 5 うち自大学出身者数 5 6 うち社会人学生数 5 6 うち社会人学生数 7 7 「ちをした」以上の大学に表します。 7 0 「ちをした」のよりに表します。 0</td><td>うち自大学出身者数 0 0 0 うち社会人学生数 0 0 0 うち女性数 0 0 0 うち留学生数 1 17 17 うち留学生数 5 6 6 うち他大学出身者数 5 5 うち女性数 7 7 うち自大学出身者数 5 5 うち社会人学生数 5 5 うち社会人学生数 5 5 うち社会人学生数 7 7 うち世女出身者数 5 7 うち社会人学生数 7 7 うち社会人学生数 7 7 うち社会人学生数 7 7 うち社会人学生数 0</td><td>うち自大学出身者数 0 0 0 0 うち社会人学生数 0 0 0 0 うち女性数 0 0 0 0 うち留学生数 1 17 17 17 うち留学生数 6 6 6 6 うち他大学出身者数 5 5 5 うち留学生数 7 7 7 うち個大学出身者数 5 5 5 うち他大学出身者数 5 5 5 うちは全人学生数 1 1 うちは全人学生数 7 7 うちは全人学生数 1 1 うち大性数 7 7 うち大生数 0<</td><td>うち自大学出身者数 0 0 0 0 うち社会人学生数 0 0 0 0 うち女性数 0 0 0 0 うち女性数 0 0 0 0 うち自大学出身者数 6 6 6 6 うち他大学出身者数 5 5 5 うち女性数 7 7 7 うち自大学出身者数 5 5 5 うち女性数 7 7 7 うち女性数 5 5 5 うち女性数 7 7 7 うちは会人学生数 5 5 5 うち女性数 7 7 うちなく、学生数 5 7 うち女性数 0</td><td>うち自大学出身者数 0</td><td>うち自大学出身者数 0 0 0 うち社会人学生数 0 0 0 うち女性数 0 0 0 うち部学生数 1 17 17 うち部学生数 1 1 1 うち自大学出身者数 5 5 5 うち女性数 7 7 7 うち似大学出身者数 3 3 うち他大学出身者数 5 5 うち大性数 7 7 うち大性数 7 7 うち大性数 7 7 うち大生数 7 7 うち変性数 7 7 うち変性数 7 7 うち変性数 7 7 お職業者 2 2 ム対象学生以外で、ブのカリオニラムの一部でいる子生の一部でいる子生の一部でいる子生の一部でいる子生のようなどの一部でいる子生のようなどの一部でいる子生のようなどの一部でいる子生のようなどの一般では、アプランムの一部でいる子生のようなどの一般では、アプランムの一部でいる子生のようなどの一般では、アプランムの一部でいる子生のようなどのようなどのようなどのようなどのようなどのようなどのようなどのようなど</td><td>うち自大学出身者数 0</td><td>うち自大学出身者数 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</td><td>うち由大学出身者教 0 <td< td=""><td>うち自大学出身者敬 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</td><td> うち自大学出身者数</td><td>うち他大学出身者数 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</td><td>うち他大学出身者数 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</td><td> 55 自大学出身者数</td></td<></td></td<>	うち自大学出身者数 0 0 うち社会人学生数 0 0 うち女性数 0 0 うち留学生数 1 17 うち自大学出身者数 6 6 うち社会人学生数 5 5 うち自大学出身者数 うち他大学出身者数 うち他大学出身者数 うち自大学出身者数 うち社会人学生数 5 うち自大学出身者数 うち社会人学生数 うち社会人学生数 うち大学出身者数 うち社会人学生数 うち社会人学生数 うち大学出身者数 うち社会人学生数 うち社会人学生数 うち大学出身者数 うち社会人学生数 うち社会人学生数 うち大学出身者数 うち社会人学生数 ウカナリキュラムの一部でいる学生数	うち自大学出身者数 0 0 うち他大学出身者数 0 0 うち女性数 0 0 うち自大学出身者数 6 11 うち他大学出身者数 5 5 うち大生数 7 7 うち自大学出身者数 7 5 うち大生数 7 5 うち大学出身者数 5 5 うち大生数 うち付金人学生数 5 うち大生数 うち他大学出身者数 5 うち大生数 うち社会人学生数 5 うち大生数 うち女性数 5 うち女性数 うち女性数 5 が職者数 人対象学生以外で、のののよりよりなのののでは、大きないののでは、大きないののでは、大きないので	うち自大学出身者数 0 0 0 0 0 0 0 0 0	うち自大学出身者数 0 0 0 うち社会人学生数 0 0 0 うち女性数 0 0 0 うち個大学出身者数 1 1 1 うち自大学出身者数 6 6 6 うち他大学出身者数 5 5 うち留学生数 7 7 うち留学生数 7 7 うち他大学出身者数 3 7 うち他大学出身者数 5 5 うち他大学出身者数 5 5 うち自大学出身者数 5 5 うち自大学出身者数 5 6 うち社会人学生数 5 6 うち社会人学生数 7 7 「ちをした」以上の大学に表します。 7 0 「ちをした」のよりに表します。 0	うち自大学出身者数 0 0 0 うち社会人学生数 0 0 0 うち女性数 0 0 0 うち留学生数 1 17 17 うち留学生数 5 6 6 うち他大学出身者数 5 5 うち女性数 7 7 うち自大学出身者数 5 5 うち社会人学生数 5 5 うち社会人学生数 5 5 うち社会人学生数 7 7 うち世女出身者数 5 7 うち社会人学生数 7 7 うち社会人学生数 7 7 うち社会人学生数 7 7 うち社会人学生数 0	うち自大学出身者数 0 0 0 0 うち社会人学生数 0 0 0 0 うち女性数 0 0 0 0 うち留学生数 1 17 17 17 うち留学生数 6 6 6 6 うち他大学出身者数 5 5 5 うち留学生数 7 7 7 うち個大学出身者数 5 5 5 うち他大学出身者数 5 5 5 うちは全人学生数 1 1 うちは全人学生数 7 7 うちは全人学生数 1 1 うち大性数 7 7 うち大生数 0<	うち自大学出身者数 0 0 0 0 うち社会人学生数 0 0 0 0 うち女性数 0 0 0 0 うち女性数 0 0 0 0 うち自大学出身者数 6 6 6 6 うち他大学出身者数 5 5 5 うち女性数 7 7 7 うち自大学出身者数 5 5 5 うち女性数 7 7 7 うち女性数 5 5 5 うち女性数 7 7 7 うちは会人学生数 5 5 5 うち女性数 7 7 うちなく、学生数 5 7 うち女性数 0	うち自大学出身者数 0	うち自大学出身者数 0 0 0 うち社会人学生数 0 0 0 うち女性数 0 0 0 うち部学生数 1 17 17 うち部学生数 1 1 1 うち自大学出身者数 5 5 5 うち女性数 7 7 7 うち似大学出身者数 3 3 うち他大学出身者数 5 5 うち大性数 7 7 うち大性数 7 7 うち大性数 7 7 うち大生数 7 7 うち変性数 7 7 うち変性数 7 7 うち変性数 7 7 お職業者 2 2 ム対象学生以外で、ブのカリオニラムの一部でいる子生の一部でいる子生の一部でいる子生の一部でいる子生のようなどの一部でいる子生のようなどの一部でいる子生のようなどの一部でいる子生のようなどの一般では、アプランムの一部でいる子生のようなどの一般では、アプランムの一部でいる子生のようなどの一般では、アプランムの一部でいる子生のようなどのようなどのようなどのようなどのようなどのようなどのようなどのようなど	うち自大学出身者数 0	うち自大学出身者数 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	うち由大学出身者教 0 <td< td=""><td>うち自大学出身者敬 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</td><td> うち自大学出身者数</td><td>うち他大学出身者数 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</td><td>うち他大学出身者数 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</td><td> 55 自大学出身者数</td></td<>	うち自大学出身者敬 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	うち自大学出身者数	うち他大学出身者数 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	うち他大学出身者数 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	55 自大学出身者数

^{※「16.} プログラムの応募学生数、合格者数及び受講学生数」と整合性を取ってください。

^{※「}修了者数」の平成27、28、29年度については、修了予定者数を記入してください。

[※]就職者にはプログラムを修了後に就職した者(起業した者も含む)のみをカウントしてください。

[※]辞退者(Q.E.によるものも含む)がいる場合は、年度毎の内訳およびその理由を備考欄に記入してください。

17. 学位プログラムの受講学生数・修了(予定)者数

各年度における本学位プログラムの受講学生数を記入してください。

②医・歯・薬・獣医学の4年制博士課程 (各年度3月31日現在(ただし平成27年度は提出日現在)) 平成24年度 平成27年度 平成25年度 平成26年度 平成 平成 学位プログラムの受講学 28 29 年度 生数等 D1 D2 D3 D4 計 D2 D3 D4 計 D1 D2 D3 D4 計 D1 D2 D3 D4 計 うち留学生数 うち自大学出身者数 平成 2 4 うち他大学出身者数 年度 選抜 うち社会人学生数 うち女性数 うち留学生数 0 うち自大学出身者数 0 0 平成 2 5 うち他大学出身者数 0 0 0 0 年度 選抜 うち社会人学生数 0 ٥ ٥ ٥ うち女性数 0 0 0 0 うち留学生数 うち自大学出身者数 平成 26 年度 うち他大学出身者数 選抜 うち社会人学生数 うち女性数 うち留学生数 うち自大学出身者数 平成 2 7 うち他大学出身者数 年度 選抜 うち社会人学生数 うち女性数 計 修了者数 就職者数 プログラム対象学生以外で、プログラムのカリキュラムの一部を受講している学生数

^{※「16.} プログラムの応募学生数、合格者数及び受講学生数」と整合性を取ってください。

^{※「}修了者数」の平成27、28、29年度については、修了予定者数を記入してください。

[※]就職者にはプログラムを修了後に就職した者(起業した者も含む)のみをカウントしてください。

[※]辞退者(Q.E.によるものも含む)がいる場合は、年度毎の内訳およびその理由を備考欄に記入してください。

リーダーを養成するプログラムの概要、特色、優位性

(広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダー養成の観点から、本プログラムの概要、特色、優位性を記入してください。)

【概要】

本プログラムは、総長のリーダーシップのもと、多文化共生に関係する部局を横断した大阪大学の知的リソースと幅広い産学官との連携とを総合して、次世代をリードする若手研究者・実践家が、各自のコアとなる高度で先端的な専攻別の博士学位研究を高めると同時に、グローバル化の進む今日の世界の中で、俯瞰的・独創的な観点と他者に対する深い理解に基づく敬意 (respect) に立脚し、多様で異なる背景や属性を有する人々が互いを高め合い、共通の未来に向けた斬新な共生モデルを具体的に創案・実施できるダイナミックな知識・技能・態度・行動力を持つ、いわば「未来共生イノベーター」となるべき人材の養成を目指す。本事業を「RESPECT (Revitalizing and Enriching Society through Pluralism, Equity and Cultural Transformation)プロジェクト」と称する所以である。さらに、本プログラムでは、人々が、未来志向で、互いに幸福を分かち合える共生社会への変革の道筋をダイナミックに研究する新たな学問体系としての「未来共生学」という学際複合的な学問領域の創成を目指す。

地球規模での相互結合性の拡大や情報通信技術の発展、国境を越える人口移動は、グローバルなレベルでの異文化間の接触を確実に加速化させ、また、今後のデモグラフィー・バランスの遷移(たとえば、アジアの少子高齢化やアフリカの若年層人口の膨張など)や民族構成の変化は、国内ないしローカルなコミュニティの多文化性に大きく影響することになる。多文化共生の推進は、日常の生活(医療現場や都市計画を含む)のなかはもとより、大規模災害や紛争や差別や人権抑圧といった危機的な事態への取り組みや、危機からの復興・和解・平和構築の過程では極めて重要な課題といえる。こうした中、専門分野における先端的なクオリティの高い研究能力に加え、人々が国籍、民族、言語、宗教、性差、世代差、病・障害歴等を含む、人々のアイデンティティの多元性を互いに認め合い、対等な関係を築きながら、よりよい未来の共生社会の形成への変革をリードする力量(知識・技能・態度・行動力)を備えた人材の育成は急務といえる。

【特色】

本プログラムでは、選り抜かれた大学院生が、5年一貫で、本来の専門分野における質の高い博士の学位研究に並行して「未来共生イノベータープログラム」を学修する、実質的な「ダブル・メジャー」教育を行う。広く定義された「多文化性」の相互尊重の多角的な研究に取り組む修了者は、研ぎ澄まされた「多文化コンピテンシー」を持つリーダーとして、多文化共生分野の最先端の研究者はもとより、人文・社会科学・医学・工学等の各分野の研究者や、日本を含む各国の政府・議会、地方自治体、国際機関、グローバル企業、メディア、学校教育、国際協力機関、NGO等で、俯瞰的・独創的立場から「未来共生」をリードする役割が期待される。

履修学生は、総長直轄の大阪大学未来戦略機構のもとに新設される第五部門に所属し、特別に編成された「アカデミックワーク」、「プラクティカルワーク」、「リサーチワーク」の3本立てのカリキュラムを通じ、「多文化コンピテンシー」を構成する6つのリテラシー(多言語、フィールド、グローバル、調査、政策、コミュニケーション)を涵養する。各個人に対しては、研究テーマに合わせ、研究科の枠を超えた論文指導体制を組み、複数言語の運用能力の修得、海外インターンシップや国内フィールドワーク、文理横断のプロジェクト型ラーニングなどが課される。さらに、学生生活面では、留学生と日本人学生がペアになる「バディ制」や学年を超えて学生同士が相互に学び合う「ハウス制」を導入する。

本事業を通じて特に解決すべき課題としては、日本と世界におけるマイノリティ問題への対応、紛争解決・和解・平和構築の促進、災害などの危機における多文化・多言語対応、グローバルな健康医療・公衆衛生分野の革新、多文化配慮のウェルネス重視のまちづくりの促進などが含まれる。 【優位性】

大阪大学では、人間科学研究科(人類学、教育学、社会学、心理学、地域研究)、国際公共政策研究科(国際政治・法・経済学を統合した国際公共政策学)、言語文化研究科(言語学、外国文化研究、及び旧大阪外国語大学のリソースによる 25 言語教育)を中心に、各研究科の持ち味を生かした多文化共生分野の多様な研究実績があり、人材を輩出している。大阪という立地に由来する人権教育や外国人政策の研究、阪神・淡路大震災や東日本大震災等の大規模災害時の多文化・多言語対応の研究や実践的も、世界各地の紛争や和解の分析や復興・平和構築、開発支援の政策研究等まで、現場重視・人間重視の実績がある。加えて本学には、部局横断の全学教育推進機構による教育サポート体制(体験型学習、海外留学支援、コミュニケーション・デザイン科目等の提供)があり、さらに、稲盛財団寄附講座に代表される多くの外部団体からの寄附講座の導入実績がある。これらは「未来共生イノベーシップのもと、未来戦略機構の一部門として、医学系・工学の両理系部局や法・文・経の文系部局、附属病院と総合学術博物館という学内施設からのインプットを統合し、さらに学外からも「未来共生イノベーター」育成と「未来共生学」の創設という趣旨に賛同する産官学の有識者・実務者・機関のネットワークを通じた協力体制が可能となった。以上から、本学には本事業の運営・実施と学生のキャリアパス支援及び補助期間終了後の継続体制も含め、明らかな優位性があると確信する。

学位プログラムの概念図

(優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーとして養成する観点から、コースワークや研究室ローテーションなどから研究指導、学位授与に至るプロセスや、産学官等の連携による実践性、国際性ある研究訓練やキャリアパス支援、国内外の優秀な学生を獲得し切磋琢磨させる仕組み、質保証システムなどについて、学位プログラムの全体像と特徴が分かるようにイメージ図を書いてください。なお、共同実施機関及び連携先機関があるものについては、それらも含めて記入してください。)

